



2024年度 愛知県公立高校入試問題

分析コメント

教科	コメント
国語	<p>【難易度】(2023年度との比較) 難化</p> <ul style="list-style-type: none">2023年度に引き続き、現代文は説明的文章(論説)と文学的文章(小説)、古典は漢文(書き下し文)が出題された。大設問4題、小設問18問という構成は例年通りであったが、2点配点のものが4問から2問に減り、3点配点のものが1問出題された。生徒6人の意見交換の会話文を並べ替える問題、心情を3つ選択する問題が新たに出題されたが、いずれも難易度が高かった。また、漢文(書き下し文)も文章の内容自体が難しかったため、全体としては2023年度より難化したと言える。
数学	<p>【難易度】(2023年度との比較) 難化</p> <ul style="list-style-type: none">大設問2以降の確率、関数、図形の問題で、解答を得るまでの手順が複雑なものが増加した。大設問3(2)②では与えられた条件をどのように活用すればよいかが見抜きにくくなっていったため、思考力・判断力が要求された。
社会	<p>【難易度】(2023年度との比較) 易化</p> <ul style="list-style-type: none">2023年度と比較して易化(特に歴史分野)教科書内容に沿った資料がほとんどで、資料の読み取りが易しかった。完答形式が減少し(10問から6問)、組み合わせも複雑さが緩和されていた。公民分野は大設問が2題となった。(2022年度以前に戻った)
理科	<p>【難易度】(2023年度との比較) 難化</p> <ul style="list-style-type: none">全体として2023年度より難化した。物理、化学分野でそれぞれ、つながりの無い3通りの実験に基づく出題があり、内容を読み取るのに時間がかかった。特に計算問題のデータの読み取りが難しかった。
英語	<p>【難易度】(2023年度との比較) 変化なし</p> <ul style="list-style-type: none">聞き取り検査、筆記検査ともに新傾向の問題は見られなかった。単語数も2023年度とほぼ変わらず、難易度に変化はなかった。昨年度と同様に資料を見て英文を完成させる問題や、ウェブページの情報と一致する英文を選択する問題が出題された。